

静岡県熱海市における
令和3年7月1日からの大雨に係る災害派遣について

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

全 般

- 7月3日(土)午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生。同日1230、静岡県知事から陸上自衛隊第34普通科連隊長(板妻)に対して災害派遣要請。
- 7月31日(土)1200、静岡県知事から陸上自衛隊第34普通科連隊長(板妻)に対して災害派遣撤収要請があり、本日をもって活動終了。

自衛隊の活動実績

活動人員延べ約23,000人(うち、被災現場における活動人員延べ約9,700人)

人命救助活動等

搜索救助

- 陸上自衛隊第34普通科連隊長(板妻)、第32普通科連隊長(大宮)、第1戦車大隊(駒門)、航空自衛隊中部航空警戒管制団(入間)、第3輸送航空隊(美保)、第3術科学校(芦屋)等により、搜索救助活動を実施
【延べ救助者数 16名(うち警察により死亡確認 12名)】
- 7月4日~13日の間、災害救助犬による搜索を実施
【延べ救助犬数 約50頭】

道路啓開

- 陸上自衛隊第34普通科連隊長(板妻)、第1施設大隊(朝霞)等により、国道135号線及び活動地域付近の道路上に堆積した土砂等を除去し、道路啓開を実施
【道路啓開の累計 約1,020m】
【延べ重機数 約290台】

被害情報収集

- 7月3日以降、陸上自衛隊東部方面航空隊(立川)ヘリコプター(UH-1)により、被災現場の情報収集及び映像伝送(待機を含む。)を実施
【延べ航空機数(待機を含む) 約40機】
- 7月4日~15日の間、陸上自衛隊陸上総隊(朝霞)、第1師団(練馬)、航空自衛隊航空総隊(横田)の全天候型ドローンにより、被災現場の情報収集及び映像伝送を実施
【延べドローン機数 約60機】

連絡員の派遣

静岡県庁、熱海市役所、伊豆山現地本部に対し、部隊から連絡員を派遣

部隊の活動状況(総括)



人力による捜索救助



小型ショベルドーザ

機械力による捜索救助



全天候型ドローン

全天候型ドローンによる情報収集



災害救助犬

災害救助犬による捜索



バケットローダ

道路啓開